

令和3年（2021年）4月16日

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル3警報**とします。

【概要】

1 県内の感染状況

期 間	新規感染者数	うちリンクなし感染者数
4月8日(木)～4月14日(水)	39名	16名

2 熊本県リスクレベルについて

前回（4月9日発表）	今回（4月16日発表）
レベル3警報相当 なお、感染状況は先週から増加が見られる。	レベル3警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

3 県民の皆様へのお願い

県内の感染者数は徐々に増加が見られ、変異株の可能性のある者やリンク無し感染者も増加しています。

今週の感染の態様として、県外に関係する感染も引き続き多く確認されているほか、県内各地で事業所内感染や家庭内感染が起こっており、県内感染への移行が進んでいると考えられます。また、会食を原因とするクラスターや高齢者施設におけるクラスターも生じており、第4波の兆しが見られ、強い警戒が必要な状況です。

県民の皆様には、できる限り感染が流行している県外（まん延防止等重点措置対象都道府県を含む）への移動を控えていただくようお願いいたします。また、年度当初の会食を含む恒例行事については、参加するか十分検討の上、できる限り人数を絞り、感染防止対策を徹底してください。

今後も、気を緩めることなく、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：井上、横山、中満
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933、5934

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和3年（2021年）4月16日】

1 熊本県における現状認識

国内においては感染の拡大傾向が継続しており、宮城県、大阪府、兵庫県に加え、東京都、京都府、沖縄県において「まん延防止等重点措置」が実施され、さらに適用を要請する方針の自治体もある。九州内においても、福岡県で1日100人を超える感染者が確認されるなど、感染は増加しており、各地で若者の感染増加や、飲食店におけるクラスター発生など、今後感染の更なる拡大が懸念される状況にある。

熊本県内の状況は、先週（4/8～4/14）の新規感染者は39例（リンク無し感染者は16例）であった（病床使用率は4月14日時点で6.9%、重症病床使用率5.1%）。

県内の感染者数は徐々に増加が見られ、変異株の可能性のある者やリンク無し感染者も増加している。感染は拡大傾向にあると考えられ、リスクレベルは「**レベル3警報**」とする。

今週の感染の態様として、県外に関係する感染も引き続き多いが、県内各地で事業所内感染や家庭内感染が起こっている。県内感染への移行が進んでいると考えられ、会食を原因とするクラスターや高齢者施設におけるクラスターも生じており、第4波の兆しが見られる。

県民の皆様には、できる限り感染が流行している県外(まん延防止等重点措置対象都道府県を含む)への移動を控えていただくようお願いする。また、年度当初の会食を含む恒例行事については、参加するか十分検討の上、できる限り人数を絞り、感染防止対策を徹底していただきたい。

今後も、気を緩めることなく、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

前回（4/9発表）	今回（4/16発表）
レベル3警報相当 なお、感染状況は先週から増加が見られる。	レベル3警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等	<ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警報	県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上	<ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

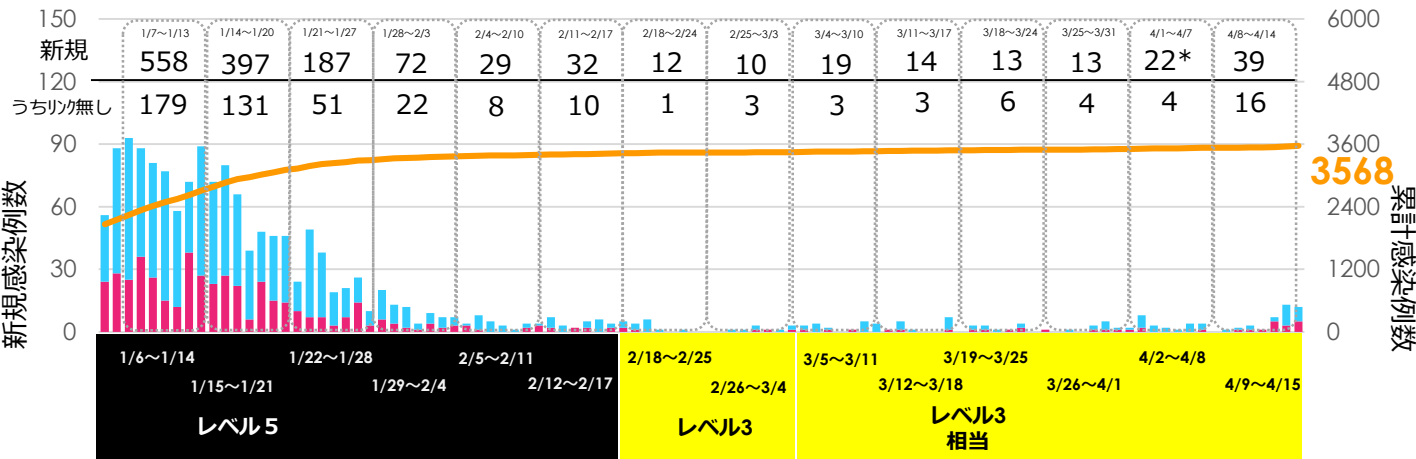
※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (4月15日現在)

- 国内においては感染の拡大傾向が継続しており、宮城県、大阪府、兵庫県に加え、東京都、京都府、沖縄県において「まん延防止等重点措置」が実施され、さらに適用を要請する方針の自治体もある。九州内においても、福岡県で1日100人を超える感染者が確認されるなど、感染は増加しており、各地で若者の感染増加や、飲食店におけるクラスター発生など、今後感染の更なる拡大が懸念される状況にある。
- 熊本県内の状況は、先週（4/8～4/14）の新規感染者は39例（リンク無し感染者は16例）であった（病床使用率は4月14日時点で6.9%、重症病床使用率5.1%）。
- 県内の感染者数は徐々に増加が見られ、変異株の可能性のある者やリンク無し感染者も増加している。感染は拡大傾向にあると考えられ、リスクレベルは「レベル3警報」とすることが妥当である。
- 今週の感染の態様として、県外に関係する感染も引き続き多いが、県内各地で事業所内感染や家庭内感染が起っており、県内感染への移行が進んでいると考えられる。会食を原因とするクラスターや高齢者施設におけるクラスターも生じており、第4波の兆しが見られる。
- 県外が関係する感染においては、変異株の可能性のある例や確定例も増えている。特に関西地方の感染者の急増には、変異株の影響もあると考えられていることから、引き続き、感染が流行している県外への移動はできる限り控えることが重要である。また、恒例行事に伴う会食による感染も確認されているため、こうした機会は必要なもののみに絞り、県が示した「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」の遵守をお願いする。
- 感染拡大の懸念の一方で、ワクチン接種が進められており、医療従事者に加え、高齢者向け接種も開始された。他国での実績等によると、現在日本で承認されているワクチンの効果は高く、医学的な見地からは、接種に対するメリットは大きいものと考えられる。
- 県においては、市町村による円滑なワクチン接種が進むよう、迅速で正確な情報提供等を行っていただきたい。
- 地域で感染が急拡大した場合、円滑な接種計画に支障が出ることも懸念される。県民の皆様におかれては、これまでの感染拡大時の緊張感を思い出し、油断せず基本的感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（1/7~4/14）：確定日ベース】

■ 新規感染例数 ■ リンク不明感染例数 — 累計感染例数



*1事例の取り下げに伴い修正

【保健所ごとの感染例の確認状況】

・リンク無し感染者数は、調査により変動することがあることに注意
 ・1月15日公表リスクレベル以降木曜日～翌水曜日までの陽性者数を集計

保健所名	これまで	先週 (4/8~4/14)	保健所名	これまで	先週 (4/8~4/14)
熊本市保健所	1878	18	宇城保健所	175	0
有明保健所	309	6	八代保健所	191	3
山鹿保健所	136	4	水俣保健所	139	0
菊池保健所	315	2	人吉保健所	69	2
阿蘇保健所	77	0	天草保健所	47	2
御船保健所	193	2	計	3529	39

【国新型コロナウイルス感染症対策分科会の6指標】

	医療提供等の負荷 (判断日の状況)		監視体制	感染の状況 (直近1週間の状況)				
	①病床のひっ迫具合			③PCR陽性率 (一週間平均値)	④直近1週間の陽性者数 (熊本県人口で換算)	⑤前週との比較	⑥感染経路不明割合	
	病床全体	うち重症者用						
ステージ4	50%	50%	437人	10%	437人	先週より増	50%	
ステージ3	25%	25%	262人	10%	262人	先週より増	50%	
ステージ2	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階							
ステージ1	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階							
4月14日	6.9%	5.1%	42人	7.2%	39人	+17	1.77	16人(41.0%)
4月7日	5.5%	3.4%	30人	5.0%*	22人*	+9*	1.69*	4人(18.2%)*
3月31日	4.2%	3.4%	25人	3.4%	13人	0	1.00	4人(30.8%)
3月24日	3.8%	1.7%	24人	4.4%	13人	▲1	0.93	6人(46.2%)
3月17日	4.0%	0%	27人	5.6%	14人	▲5	0.74	3人(21.4%)
3月10日	3.4%	3.4%	28人	5.6%	19人	+9	1.90	3人(15.8%)
3月3日	5.9%	5.1%	32人	4.0%	10人	▲2	0.83	3人(30.0%)
2月24日	10.1%	11.9%	55人	2.3%	12人	▲20	0.38	1人(8.3%)

*1事例の取り下げに伴い修正

木曜日～翌水曜日までの陽性者数を集計

3 県民の皆様へのお願い（4月16日発表）

熊本県の状況は、**レベル3警報**です。
また、感染状況は拡大傾向が見られます。感染防止のため、次の対応を行います。

感染の増加を防ぐため、次の要請の遵守をお願いいたします。

1 基本的な3つの対策を徹底して下さい。

- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

特に高齢者施設や医療施設の管理者は、従業員や出入り業者を含めた関係者の対策確認によりクラスター発生予防に努めて下さい。



©2010 熊本県 くまモン

2 移動・外出は慎重に

【移動】

感染が流行している県外への移動を控えて下さい。

感染流行地域



【外出】

外出においては、感染防止対策を徹底して下さい。

わずかでも発熱等の症状がある場合、仕事を休み、すぐに受診をお願いします。



くっつかないモン
#KeepDistance

発熱者専用ダイヤル
0570-096-567

3

会食はリスク大！特に注意しましょう



宅飲み・イベントを含み、「会食時の感染リスクを
下げる4つのステップ」を遵守して下さい。

年度当初の歓送迎会などの恒例行事は、感染リ
スクを最小化するために、下記に留意して実施し
て下さい。

- ①なるべく普段から一緒にいる人と
- ②人数を絞って
- ③特に「会食時の感染リスクを下げる4つのス
テップ」を遵守して

県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、
感染拡大につながる行動を控えて下さい。

感染防止対策が講じられていない飲食店は利用
しないようお願いします。

4つのステップ



手を洗うモン
#WashHands



4

事業者の皆様への要請

【全般】

- ・事業所の感染防止対策を講じ、わずかでも発熱等の症状がある場
合、確実に仕事を休ませる体制を構築して下さい。
- ・テレワーク・時差出勤を推進して下さい。

【飲食店事業者】

- ・県チェックリスト等を活用し、感染防止対策を講じ、ステッカー
掲示を行って下さい。
- ・市町村が行う飲食店を対象としたPCR検査等の取組みがあれば、
その機会を活用して下さい。

【高齢者施設】

- ・オンライン研修等を活用し、感染防止対策を講じて下さい。
- ・従業員にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制
を構築して下さい。
- ・入所者・従業員に症状がある場合、すぐに検査に繋げる体制を構
築するとともに、感染者の早期発見の観点から一斉検査等の機会
も活用いただくようお願いします。

チェックリスト
ステッカー



県オンライン研修



換気をするモン
#OpenWindow

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんで
いる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性が
あります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや
嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対のないよう、お願いします。

熊本市の状況と対策

○熊本市においては、2週連続で2桁となる18例の感染が確認されています。高齢者施設や会食に伴うクラスターが発生するなど、更なる感染拡大が強く懸念されることから警戒が必要な状況です。また、引き続き感染が流行している地域等との往来後に感染が判明する事例も確認されており、今後も年度初めの人々の移動等の影響の顕在化が見込まれることから、感染拡大防止対策の徹底など注意が必要です。

【対策】

- ・熊本市において、次のとおり取組を進められます。
 - ✓中心部の商店街と連携したPCR検査の勧奨や、大学と連携した大学生向けの感染防止対策の周知広報・PCR検査など、中心部歓楽街や若者を対象とした感染防止対策の強化に取り組めます。
 - ✓市内で発生した大規模クラスター事例を踏まえた高齢者施設向けの感染防止等に関する研修を開催します。
 - ✓高齢者施設等従事者への緊急PCR検査や、感染者が多発しているエリアの接待を伴う飲食店への緊急出張PCR検査を引き続き実施します。
 - ✓県と連携し、入院患者受入病床や後方支援医療機関の更なる確保に向けて継続的に取り組めます。
 - ✓感染封じ込めを図るため感染源の推定のための調査など積極的疫学調査を強化します。
 - ✓医療提供体制を守るため、病床使用率を注視し、一般病床使用率50%以上・重症病床使用率25%以上を目安に、専門家の意見を踏まえ「熊本市医療非常事態宣言」の発令を行います。

【熊本市からの要請】

熊本市から、熊本市民のみなさまに対し、次のとおり要請されています。

- ・高齢者や基礎疾患のある方と、その同居家族の方は、できるだけ不要不急の外出を避け、人との接触を控えて下さい。
- ・高齢者施設にお勤めの方は、感染者の早期発見の観点から本市が実施している定期的なPCR検査を是非受検いただくようお願いいたします。
- ・高齢者施設、医療機関等にお勤めの方は、勤務先での感染拡大を防ぐため、できる限り同居家族以外との会食や不要不急の外出を控えて下さい。
- ・年度当初の歓送迎会など恒例行事での会食は、参加するか十分検討の上、少人数で、なるべく普段から一緒にいる人と、感染防止対策を徹底して参加して下さい。
- ・進学、就職、転勤などに伴い他県から移動された方については、特に体調管理に気を付けていただくとともに、マスク着用等の感染拡大防止対策の徹底をお願いします。

4 県民の皆様へ、基本的にお願ひすること

以下の対策は、リスクレベルによらず徹底をお願ひします。

I 県民の方への要請

(1) 最も重要なお願ひ

- ① 症状がなくとも、マスクを着用して下さい。
- ② こまめな手洗い・手指消毒を行って下さい。
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談を！

(2) 基本的な対策及び考え方

- ・「新しい生活様式」の実践をお願ひします。
- ・マスク着用、手洗い、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底して下さい。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底して下さい。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願ひします。

(3) 外出について

- ・外出においては、マスク着用等の感染防止対策を徹底して。
- ・「3つの密」のある場及び感染が流行している地域への移動は控えて下さい。
- ・発熱やかぜの症状がある場合は外出を控え、特に会食等に参加しないようにして下さい。
- ・高齢者、基礎疾患を有する方及びその御家族の方は、外出の際は感染防止対策を特に徹底して下さい。

(4) 飲食店等、営業施設の利用について

- ・ステッカーを掲示していないなど、感染防止対策が講じられていない飲食店は利用しないで下さい。

II 事業者の方への要請

(1) 企業、事業所、施設の感染防止対策について

- ・企業及び事業所等においても、業種別ガイドラインを参考に感染防止対策を要請します。
- ・社会福祉施設及び医療機関においては、施設内感染や院内感染を防止する対策の徹底を要請します。
- ・事業所や施設内における感染防止対策においては、特に次の点に留意し具体化して下さい。
 - 感染者や有症状者等が発生した場合の、事業所内での連絡体制や事業休止のルール等を定めておくこと。
 - 感染者等が発生した場合の、対策責任者や対応者等を定めておくこと。
 - 高齢者施設においては、県のオンライン研修等も活用し、感染防止対策を行うこと。

(2) 飲食店の感染防止対策について

- ・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行って下さい。
- ・熊本市をはじめ、各市町村及び団体等が行う飲食店における感染防止対策支援事業やPCR検査事業を積極的に活用し、感染防止を十分に図って下さい。
- ・県において感染防止講習会への講師派遣等を行います。20名程度以上を単位とし、新型コロナウイルス感染症対策本部事務局あてお申し込み下さい。
- ・飲食店においては、感染拡大予防ガイドラインや県が示すチェックリスト等による感染防止対策を徹底するとともに、それが県民に分かるよう、令和2年7月30日付けで通知したステッカー等を掲示することを要請します。

感染が流行している地域について【4月16日発表】

○熊本県では、感染が流行している地域（緊急事態宣言対象、まん延防止等重点措置対象及び人口10万人当たりの週陽性者数が15以上の都道府県）への移動は控えていただくよう要請しています。

※対象の地域は着色しています。

○やむを得ず外出する場合は、「三つの密」のある場を避け、感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

発症率順	都道府県名	4/8～4/14の算定陽性者数	10万人当たり陽性者数
1	大阪府	6,548	74.3
2	沖縄県	809	55.7
3	奈良県	546	41.1
4	兵庫県	2,078	38.0
5	宮城県	650	28.2
6	東京都	3,480	25.0
7	和歌山県	211	22.8
8	京都府	540	20.9
9	徳島県	137	18.8
10	愛知県	1,120	14.8
11	山形県	152	14.1
12	長野県	282	13.8
13	愛媛県	181	13.5
14	埼玉県	962	13.1
15	千葉県	729	11.6
16	神奈川県	1,068	11.6
17	岡山県	219	11.6
18	滋賀県	161	11.4
19	群馬県	209	10.8
20	北海道	542	10.3
21	石川県	107	9.4
22	三重県	167	9.4
23	茨城県	257	9.0
24	福島県	161	8.7

発症率順	都道府県名	4/8～4/14の算定陽性者数	10万人当たり陽性者数
25	福岡県	435	8.5
26	新潟県	186	8.4
27	栃木県	160	8.3
28	青森県	96	7.7
29	岐阜県	149	7.5
30	佐賀県	57	7.0
31	富山県	72	6.9
32	香川県	65	6.8
33	福井県	47	6.1
34	鳥取県	32	5.8
35	宮崎県	59	5.5
36	山梨県	40	4.9
37	静岡県	156	4.3
38	岩手県	52	4.2
39	秋田県	33	3.4
40	広島県	81	2.9
41	長崎県	37	2.8
42	鹿児島県	44	2.7
43	大分県	30	2.6
44	熊本県	39	2.2
45	山口県	30	2.2
46	高知県	10	1.4
47	島根県	5	0.7
	合計	23,231	

※本県及び福岡県以外の陽性者数は厚生労働省が4月16日8時30分までに公表したデータから本県で算定・集計(各自治体の時点公表数等と異なる場合あり)。

人口は「人口推計（2019年（令和元年）10月1日現在）」（総務省統計局）を使用。